

法政大学社会学部

「社会学コロキウム」第32回



“Shagaku” Colloquia
Faculty of Social Sciences
Hosei University

32



和解のプロセスと戦略的目的

紛争解決と平和構築の文脈から

報告＝二村 まどか（法政大学社会学部教員）

討論者＝岡野内 正（法政大学社会学部教員）

司 会＝土倉 英志（法政大学社会学部教員）

2022年7月12日 [火] 17:20～19:00

Zoomによるオンライン開催

【要旨】 本研究は、武力紛争や大規模暴力の後に追求される和解の「戦略的目的」に着目し、和解の多義性と政治性を考察するものである。具体的には、和解を一連のプロセスと捉えたうえで、和平プロセス、平和構築活動、修復的正義追求の三つの異なる文脈において、それぞれ「和解が何のために追求されるのか」に着目したうえで、和解が多様な戦略的目的を持ちうること、それに応じて和解へのアプローチが異なること、そしてこれらのアプローチが時に相反しあうことを示す。このことは、異なる戦略的目的が併存する場合、また時間を経て戦略的目的が変化し、かつての和解へのアプローチが見直される場合、和解のプロセス自体が停滞あるいは一層複雑化することを意味する。和解のプロセスは異なる戦略的目的の間の対立・調整のプロセスという側面も持つのである。

主催＝法政大学社会学部学会

参加＝無料

※今回はオンライン開催のため、参加者を法政大学社会学部専任・兼任・兼任教員、大学院社会学研究科・公共政策研究科学生、社会学部学生に限らせていただきます。学部生は申込み制です。参加希望者は以下のフォームで詳細を確認の上、お申込みください。

参加申込み・問い合わせ先＝法政大学社会学部学会

<https://forms.gle/txQADYB23192zLiU7>



1952 2022

HOSEI UNIVERSITY
FACULTY OF SOCIAL
SCIENCES
70TH
ANNIVERSARY
1952-2022

社会学部
開設70周年